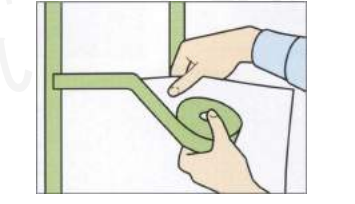


1 下地素材(コンクリート・モルタル)表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)エフロレッセンス(白華)、ホコリ、等は、ポリリッシャー等で完全に除去し、油分など付着物は、洗浄除去し、十分に乾燥させて下さい。
(気温5℃以下湿度85%以上や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

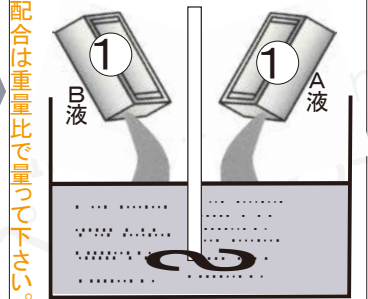
2 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。



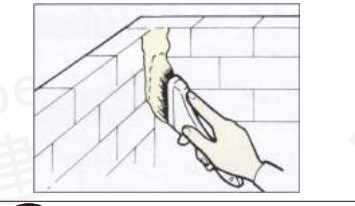
3 【下塗り】 プライマーHをA液B液共よく混ぜてください。



4 A液とB液を1:1の割合で配合し均一になるようによくはん機でよくかき混ぜます。



5 うすめずに原液のまま塗装します。スミなど狭く箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。

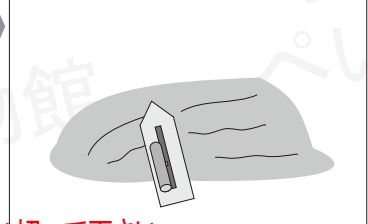


6 ロールで塗りのばします。(A液とB液配合後2時間以内に使い切ってください。)



7 【乾燥】 2時間(23℃)以上乾燥させます。(48時間以内に中塗りして下さい)

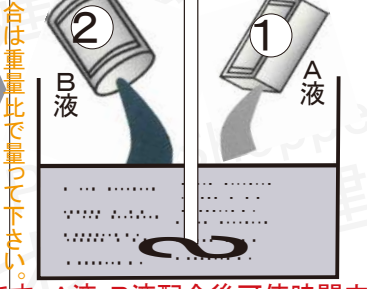
10 コテやヘラで平滑になるように均一に塗り広げます。(0.3kg/m²)



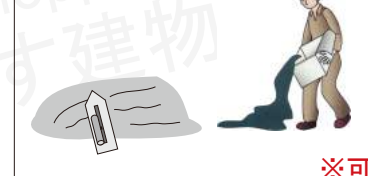
8 【中塗り】 フローン#12をA液B液共よく混ぜてください。



9 A液とB液を1:2の割合で配合し均一になるようによくはん機でよくかき混ぜます。



13 フローン#12が乾いたらもう一度フローン#12を流し延べ塗り広げて下さい。(24~48時間以内)(1.0kg/m²)



14 24時間(23℃)以上乾燥させます。(48時間以内に上塗りして下さい)

17 隅など細かい部分は刷毛等で予め塗り全体をローラーで塗りのばします。(A液とB液配合後2時間以内に使い切ってください。)

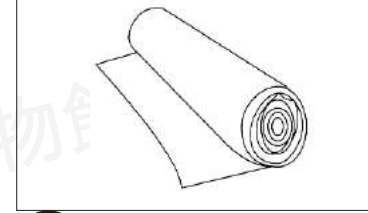


15 スーパートップ遮熱をA液B液共よく混ぜてください。

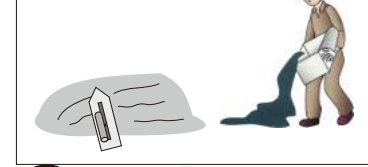


18 【完成】 48時間以上(23℃)乾燥させます。(スーパートップが完全に乾く前に養生を取り除いてください。)

11 フローン#12が乾く前にガラスクロスを入らぬように貼り広げて下さい。



12 フローン#12が乾いたらもう一度フローン#12を流し延べ塗り広げて下さい。(24~48時間以内)(1.3kg/m²)



- 気温5℃以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風時および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないようにし必要に応じて保護メガネ、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意してください。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手の届かない一定の場所を定めて、空気中の湿気と反応しますので、空気が入らないように密栓し冷暗所に保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んで取扱ってください。
- コンクリート、モルタル面の表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)、エフロレッセンス(白華)、砂、ホコリ、ゴミ、等は密着不良の原因となる為、ワイヤー付きポリリッシャー等で完全に除去して下さい。
- 新設のコンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下になってから施工して下さい。
- 降雨後は、下地が水分を含んでいる為、2日以上十分に乾燥させて下さい。
- 水勾配を正確にとり、水たまりが絶対に出来ないようにして下さい。
- 風呂場、厨房などの常時水のかかる所や熱湯や蒸気のかかる所、湿度の高い所の施工には適しません。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 水分と反応硬化しますので、湿度、雨、汗等にも充分注意して下さい。開缶後は速やかに使用して下さい。主剤と硬化剤は必ず規定の配合比(重量比)で配合して下さい。(可使時間は50分(23℃)です、A液とB液混合後50分以内に使い切ってください。)
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性性能が十分に発揮されない場合があります。

※可使時間は50分(23℃)です。A液・B液配合後可使時間内に使い切ってください。